

# 実務実習における ハラスメントへの対応

社団法人 日本薬剤師会  
実務実習受入体制整備検討会  
神田晴生

# 実習中に生じると思われる問題点

- ひとつの薬局で実習を完結することが困難であること
- **ハラスメント**
- 学生と指導薬剤師の意識や性格の不一致
- モチベーションの維持
- 学生の挫折、指導薬剤師の挫折
- 薬局業務への支障
- 指導薬剤師の力量不足
- 大学と薬局の連携不足
- 実習中の病気や事故
- 患者とのトラブル

ハラスメントについては、社会的にはすでに十分認識されている事柄であるが、これから始まる実務実習は、私たちが**今までに経験したことのない11週間という長期**にわたるものであり、また**薬局という比較的狭い空間**で行われることから、十分に注意を払わなければならない。



**ハラスメントについて注目**

# ハラスメントとは

相手の意に反する不適切な言動（不作為を含む）により、相手を不快にさせたり、不利益や損害を与えることによって、学習、教育、研究、労働環境を悪化させること。

相手がそれぞれを不快に感じるかどうかによって決まる

# ハラスメントの種類

## セクシュアル・ハラスメント

相手の意に反する性的な発言や行動により、不利益や損害を与え、または個人の尊厳もしくは人格を侵害すること。

# セクシュアル・ハラスメントの具体例

- unnecessary personal guidance. unnecessary phone・email.
- unrelated personal talk.
- unrelated sexual content.
- unnecessary physical contact. staring.
- "proportion is nice" or "slim size".
- "big chest (small)" or body-related comments, personal sexual experience.
- luring to eat or drink. insisting on home visits.
- evaluation based on gender (male/female).
- raising/lowering evaluation based on dates.
- leaving adult pages on PC.
- pressuring sexual relationships.

# アカデミック・ハラスメント

研究・教育(実習)の場において、指導的立場にある者が、その優越的な立場や権限を利用して、その指導を受ける者に対して、差別的な発言や行動を行い、その指導を受ける者の学習活動や研究活動を妨げて、個人の尊厳または人格を侵害すること。

# アカデミック・ハラスメントの具体例

- 指導やアドバイスをしない。
- 「実習をする資格がない」「薬剤師になれないぞ」「お前は馬鹿だ」などと言い、精神的に虐待する。
- 「不当な課題達成」を強要する。
- 不当に低い評価をしたり、単位を与えない。
- 文献・図書や機器類を使わせない。
- 実習と無関係な雑用を強いる。



# パワー・ハラスメント

**就労上**、優越的な立場や権限を利用して、その影響力を濫用する言動のこと。

指導の範疇を超えて継続的に学歴・体型・家族・プライバシーに関することなどを話題にし、人格と尊厳を侵害し不安を与えることや、相手の意に反して、その労力を使用したり拘束したりして、不快感を感じさせること。

# パワー・ハラスメントの具体例

- 大声、怒鳴り声で話したり、指導する。
- 実習上必要な情報を意図的に伝えない。
- やり方を教えずに、少しでもミスをすると、不当に責める。
- 正当な理由なく、過剰な業務(実習)を課す。
- 正当な理由なく、雑用だけをさせる。
- 時間外の付き合いまで強要する。
- みせしめのために特定の者を攻撃し、周囲を萎縮させて支配力を得ようとする。
- 意見が合わなかったら許さない。「生意気だ」と非難する。

# 実務実習でのハラスメント事例

過去の4年制実務実習において  
実際に起きたハラスメントの事例

# セクシュアル・ハラスメントの事例1

- 実務実習中の実習ノート返却の際に「メールしてもいいかな」という直筆のメッセージメモが入っていた。
- 指導薬剤師が実習生に「胸が大きくセクシー」などの言葉をしつこく浴びせた。
- 肩こりやツボの話で、突然「首に触っていいかな」とツボの指導と称して首筋を触られた。
- 実習最終日に食事に誘われ、頭を撫でられたり胸部を触られた。
- 他人がいるところでは「さん」付けで呼ばれ、いないところでは「ちゃん」付けで呼ばれた。

## セクシュアル・ハラスメントの事例2

- 説明を受ける際、10～15センチの近距離で話をされた。
- 実習中に指導薬剤師からデートに誘われた。
- 実習中に指導薬剤師に、男女関係などのプライバシーに関することを執拗に聞かれた。
- 実習最終日に実習レポートの返却をお願いしたら、「来週ディナーに誘うから、そのときに返す」と言われた。

# アカデミック・ハラスメントの事例1

- 実習施設の指導者から、他の実習生と比較するような発言や、基礎学力の低さを必要以上に指摘する発言（「薬剤師に向いていない」など）により、学生が苦痛を受けた。
- 現場特有の調剤方式に「大学ではそのようには教わっていない」と言ったことがきっかけで、指導態度が冷たくなり、他大学の実習生と比較された。
- 指導薬剤師が、学生はこうではなくてはならないとの、観念があり、その観念から外れた学生はダメな学生とレッテルを貼られてしまい、実習継続困難になりかけた。

## アカデミック・ハラスメントの事例2

- 指導薬剤師が自分の考えを過度に押しつけた指導を行ったため、学生は毎日の実習が苦痛となった。
- 「やる気がないのであれば明日から来なくてもよい」と言われた。
- 実習中に食事に誘われ、指導薬剤師にしつこく説教された。
- 指導薬剤師に怒鳴られたり、中傷された。
- 指導薬剤師に、挨拶しても無視された。質問にまじめに答えて貰えなかった。
- 1日中アルバイト店員のように扱われ指導もなかった。

# ハラスメントへの対応策1

## (1) ハラスメントを防ぐには

- 人格的には対等な存在。互いに尊重しあうことで、トラブルに発展することが避けられる。
- 気軽な気持ちでの行為や言動が、相手にとっては耐えられない苦痛となることもあると認識しておく。
- 相手の気持ちを常に考え、自らの行動を客観的に省みる。気づいたら、すぐにやめて、繰り返さない。
- 学生と打ち解けて、何気なくとった行動(言動)がハラスメントにつながりやすい。
- ハラスメントを目撃したときには、すぐに管理者に報告するなど防止に努める。
- 薬局内でハラスメントに関しての勉強会を開催する。



# ポイント

- 信頼関係の構築が一番！
- 嫌がられたと気づいたら、すぐにやめて、繰り返さない！
- お互いに慣れてきてからが要注意！
- 自分勝手な思い込みが危険！
- **実習開始前に学生に伝えておく！**

# ハラスメントへの対応策2

## (2) 被害にあったら

(学生からの薬剤師、職員に対するハラスメント)

- 「自分是不快である」という気持ちを言葉と態度ではっきり相手に伝える。
- ハラスメントを受けたと思われる行為について、その場の状況をなるべく詳しくメモをとっておく。
- 一人で悩んだり、我慢したりせず、管理者や他の職員に速やかに相談する。

# ハラスメントへの対応策3

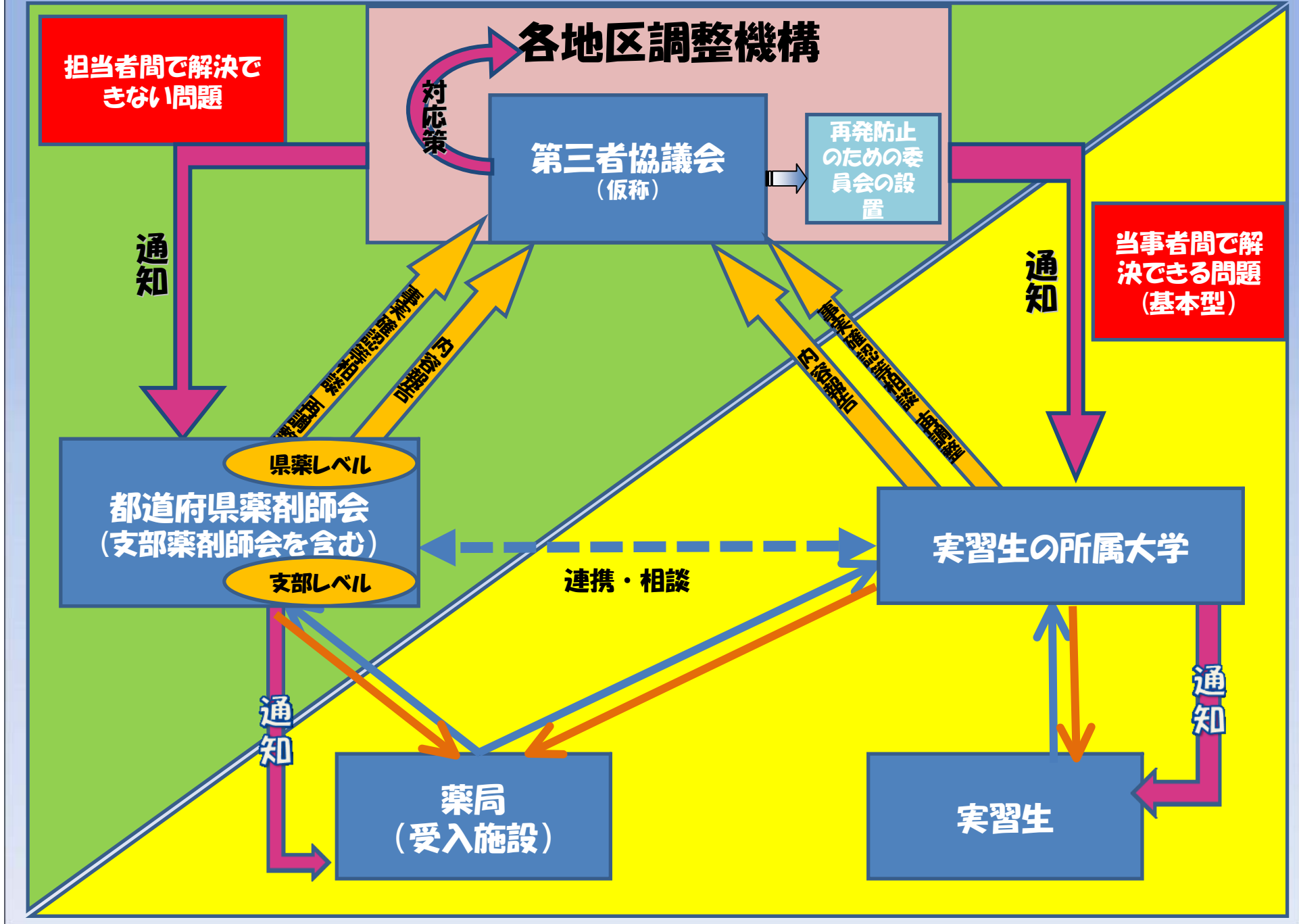
## (3) 被害を目撃したら

- 他人ごととして、決して放置しない。放置しておくと、エスカレートする危険がある。
- 被害を目撃したら、詳しくメモを取っておく。

## (4) ハラスメントの対応窓口

- 受入薬局、学生、大学の3者で解決することが基本となる。
- 3者で解決できない問題や実習中のトラブル等の相談については、薬学教育協議会を中心に対応窓口の設置について検討中。

# 実務実習に関するトラブルへの対応フロー (案)



各都道府県薬・支部、そして各薬局  
において、ハラスメントに関する事前  
の研修会の実施。



ハラスメントの予防と啓発に努める。